

<p>アセスメント ポリシー</p> <p>教育に関する各種データ、資料収集、分析、点検、評価のポリシー</p>	<p>ふじやま国際学院では、「サティフィケートポリシー」「カリキュラムポリシー」「アドミッションポリシー」に基づき学修成果・教育成果を評価・測定します。なお、この評価・測定は、客観データ及び主観データを用いて行います。</p>
<p>サティフィケート ポリシー</p> <p>卒業認定の方針</p>	<p>ふじやま国際学院では、本校が提供する科目を受講し必要な到達目標に達した上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「ふじやま国際学院修了書」を授与します。</p> <p>(知識・技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語、日本文化、日本のマナーや習慣に関する知識を修得し、高い日本語運用力を身に着ける。 2. 異文化を理解する姿勢を有し、自文化を理解し他者や社会に発信することができる。 3. 多様な属性を持つ他者とつながり、共通の目的を達成するために適切なインターアクションができる。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 自ら思考し、それを他者に伝える努力を怠らない。 5. 社会との関係を視野に入れて、判断することができる。 6. 日本と世界の文化的・人間的交流の中で自己表現できる。 <p>(関心・意欲・態度)</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. グローカルな視点を持ち、特に興味をもった問題について追求し問題意識を養うことができる。
<p>カリキュラム ポリシー</p> <p>教育過程編成・実施の方針</p>	<p>ふじやま国際学院では、卒業認定の方針（サティフィケート・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価に基づきカリキュラムを体系的に編成します。</p> <p>(教育内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4技能の実用的かつ運用力の高い日本語力を身に着けることを目標にした日本語科目を配置する。 2. 異文化への理解、自文化を他者や社会に発信する能力を養うため異文化コミュニケーション関連の科目を配置する。 3. 多様な属性を持つ他者と共通の目的を達成するための力を養うためプロジェクトマネジメント関連の科目を配置する。 <p>(教育方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。また適宜教室外活動を実施し、学外リソースを活用する。 2. きめ細かな教育を実施し、学生の能力・資質に応じた学修ができるようにする。 3. 学習項目の内容と時間を授業進度表に明示し、学生が授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。 4. 適宜、オリエンテーション、学生交流会、面談等の機会を設け、留学生活やキャリア相談など様々な相談にきめ細かく応じる。 <p>(教育評価)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ふじやま国際学院のカリキュラムの評価は、卒業・進級判定、科目配置、授業評価アンケート、授業進度表記載内容、授業報告日報等の実態把握に基づいて総合的に行う。 2. 学生個人の教育評価は、日本語能力および行動特性を評価項目とし社会と関わる諸活動の成果等の実態把握に基づいて総合的に行い、学修支援に生かす。
<p>アドミッション ポリシー</p> <p>入学者受け入れの方針</p>	<p>ふじやま国際学院では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p> <p>(知識・技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JF日本語教育スタンダードのA1レベル相当の日本語能力を有している。 2. 興味・関心のあることについて自ら探索する習慣を養っている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 日本語・日本文化・日本語社会について深い興味と関心を持っているとともに、母語での話す・聞く・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。 4. 高等学校までの英語などの外国語教育をいかして、世界と交流する自覚を持っている。 <p>(関心・意欲・態度)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 自己の関心事に関して図書館やインターネットなどを活用して、自主的に学ぼうとする意欲がある。 <p>(留学経費能力・経費支弁能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 本人または経費支弁者が在留中の経費を安定・継続して支出する能力が十分に立証できる。